

参考資料

第25採択地区教科用図書採択協議会専門員  
令和4年度使用教科用図書研究調査報告書  
【中学校】

1 歴史・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 ～ 8

令和3年8月6日（金）

令和3年度第2回第25採択地区教科用図書

研究調査報告書

教科名 ( 社会科 歴史 )

項目	新しい社会 歴史 ( 2・東書 )
中学校学習指導要領の教科の目標との関わり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○単元全体を貫く探求課題が設けられており、歴史の大きな流れを各時代の特色を踏まえて理解できる。</li> <li>○社会科3分野共通の5つのテーマについての題材を扱うなど他分野との関連が図られたり、他教科との関連が図られたりしており、多面的・多角的に考察できる。</li> <li>○多くの文化財が取り上げられており、文化財を通して我が国の伝統や文化に対する理解を深められる。</li> </ul>
特色	<p><b>＜基礎的・基本的な知識・技能の習得＞</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒が学習する上でつまずきやすい事項には、巻末の「用語解説」で補足説明し、定着しやすいように工夫されている。</li> <li>○歴史学習に必要な技能について、資料の読み取り方や調べ学習を行う際の手法が設けられ、情報をまとめるまでの流れが示されており、技能が身につけられる。</li> </ul> <p><b>＜思考力・判断力・表現力等の育成＞</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各単元の学習を、単元全体を貫く「探求課題」と節ごとの課題である「探求ステップ」、1単位時間の「学習課題」の3段階の問いで構成し、細かいステップによる学習で、思考・判断した内容を表現できる。</li> <li>○「みんなでチャレンジ」などの対話的な学習の場面が設けられており、他者からの意見により、思考などが深められる。</li> </ul> <p><b>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための効果的な工夫＞</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○本文で学習した内容に関連した「もっと歴史」が設けられ、学習内容をさらに深めたり、広げたりできる。</li> <li>○二次元コードが付いており、専用のウェブページなどから学習をサポートする情報が得られる。</li> </ul>
資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○復元写真や想像図など、生徒が歴史に関心を持ち、実感できる資料が豊富に掲載されている。</li> <li>○資料を実物大で掲載したり、実際の大きさを付したりして、生徒が具体的なイメージを持って学習できる。</li> </ul>
表記表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○幅広い視野から社会的事象の意味を確実に理解し、考查できるように、生徒にわかりやすい文書表現になっている。</li> <li>○使用している文字にユニバーサルデザインフォントを使用し、文字の視認性が向上されている。</li> </ul>
総括	<p>生徒が必要な知識や技能を身に着け、考察できるような授業を構成するための流れができています。社会科の学習を貫く5つのテーマから歴史の学習を振り返り、持続可能な社会について構想することを通じ、より良い社会の形成に主体的に参画する態度が養える。</p>

研究調査報告書

教科名 ( 社会科 歴史 )

項目	中学社会 歴史 未来をひらく ( 17 ・教出 )
中学校学習指導要領の教科の目標との関わり	<p>○歴史の流れを理解させるために「学習のまとめと表現」に時代の移り変わりを大観する構造図を掲載し、時代の特色について考察・表現する活動を設けている。</p> <p>○我が国の歴史や人物を尊重する態度を育てるために、社会を築いてきた先人たちが取り上げられるとともに、巻頭部に「私たちにつながる歴史」を掲載している。</p> <p>○多文化共生の重要性を学び、国際協調の精神を育てるために、平和と共生を願う人々の思いや努力、工夫を紹介する「歴史を探ろう」を設けている。</p>
特色	<p><b>&lt;基礎的・基本的な知識・技能の習得&gt;</b></p> <p>○見開きが1単位時間で、導入、学習課題、本文、「確認と表現」で構成している。</p> <p>○学習の流れに即した「読み解こう」や「学習のまとめと表現」を設けている。</p> <p>○領土をめぐる問題については、地図資料を用いて紹介している。</p> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等の育成&gt;</b></p> <p>○「確認」と「表現」で、学習内容に対する自分の考えを深め、広げられるようになっていく。</p> <p>○各時代のまとめとして、「学習のまとめと表現」で、年表や地図で時代の移り変わりを大観し、その時代の出来事や動きを説明する学習を設けている。</p> <p>○各時代の特色やその背景を追究し、前の時代からどのような移り変わりが生じたのかに着目する「特設」ページを設けている。</p> <p>○「歴史の技」では、地図や写真、絵巻物や新聞等の資料を読み取る学習を行い、問いを通じて歴史学習の基本的な技能を身に付けるようになっていく。</p> <p><b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための効果的な工夫&gt;</b></p> <p>○各時代の導入として、その時代に関連性のある資料を取り上げ、これから学習する時代のイメージをつかませる「とびら」を設けている。</p> <p>○本文の学習を広げたり深めたりする「学習課題」や、関連する内容を紹介する「歴史の窓」、特設ページ「歴史を探ろう」を設けている。</p> <p>○古事記や日本書紀に記された神話を紹介し、現在も地域に残る伝承や神社の祭り等に興味・関心を持たせるような工夫をしている。</p>
資料	<p>○見開きの上部に、導入資料や中心資料を写真等で大きく掲載している。</p> <p>○ページごとに写真・地図・系図・統計・組織の仕組み等を豊富に掲載している。</p> <p>○資料に吹き出しを付け、解説や資料についての問いかけを掲載している。</p>
表記表現	<p>○各項目の見出しや資料名、重要語句は太字で表記されている。</p> <p>○特設ページのうち、他分野の学習につながる内容を「関連」として示している。</p> <p>○「時代スケール」として項目ごとに学習する時代の範囲を色で表し、小学校で学習した人物と中学校で学習する人物をマークで区別している。</p> <p>○本文は敬体で、参照ページを設けている。</p> <p>○資料には、見開きごとに本文記述と資料との関連を示す通し番号が付けてある。</p>
総括	<p>「未来をひらくために」では、これからの社会を築いていくために、自分たちが社会とどのようにかかわればよいかを考察させ、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うように配慮している。</p>

研究調査報告書

教科名 ( 社会科 歴史 )

項目	社会科 中学生の歴史 日本の歴史と世界の動き ( 46・帝国 )	
中学校学習指導要領の教科の目標との関わり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本文ページ中の各種写真・統計類において「資料活用」の問いが設けられており、習得した技能を、生徒自身がみがけるようにされている。</li> <li>○「章の学習を振り返ろう」「確認しよう」「説明しよう」のコーナーで、言語活動を備えた学習の振り返り場面の充実が図られている。</li> <li>○「多面的・多角的に考えてみよう」のコーナーでは、当時の社会課題に対して様々な立場や選択を通して考察することで、主体的・対話的で深い学びの活動が充実するよう構成されている。</li> </ul>	
特色	<p><b>＜基礎的・基本的な知識・技能の習得＞</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○時代を概観するイラスト「タイムトラベル」が各時代に設けられており、政治・経済・文化が時代ごとに比較しやすいようにまとめられている。</li> <li>○世界史の画期となった時代情勢をイメージできる大きなイラスト地図があり、国際情勢が理解しやすいように工夫されている。</li> </ul> <p><b>＜思考力・判断力・表現力等の育成＞</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「章の問い」と「章の学習を振り返ろう」が各章に用意されており、学習の系統性を意識して、各節・毎時間の学習に取り組むことができる構成になっている。</li> <li>○「多面的・多角的に考えてみよう」のコーナーでは、当時の社会課題に対して様々な立場や選択を通して考察することで、主体的・対話的で深い学びの活動が充実するような内容になっている。</li> </ul> <p><b>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための効果的な工夫＞</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各時代の文化史の充実を図るため、原則として1単元4ページで構成されており、文化財などの写真が充実している。</li> <li>○琉球やアイヌの人々の文化や歴史について、本文と特設で重点的に扱われている。記述は詳しく、写真資料も充実している。</li> </ul>	
	資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「タイムトラベル」の資料はイラストになっているため、各時代の人々の生活、政治・経済・文化がイメージしやすくなっている。</li> <li>○文化財の写真資料や地図が充実している。理解を深めるための解説、イラストが適宜設けられており、主体的に学ぼうとする態度の育成に役立つ。</li> </ul>
	表記表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○文字は、見やすく読み間違えにくいUDフォントが使用されている。</li> <li>○見開きにおけるデザイン、グラフ・地図といった資料で、色覚に特性のある生徒でも識別しやすい色を使用している。また折れ線グラフは、線種を変えるなどの工夫を行っている。</li> </ul>
総括	<p>課題設定と振り返り・時代の比較が充実しており、時代ごとの理解が深まる構成になっている。イラスト・写真資料は多く、かつ大きく掲載されている。「多面的・多角的に考えてみよう」は、様々な立場から考察、議論するもので、主体的に考え解決する力を育成する内容となっている。すべての生徒に見やすい構成になっている。</p>	

研究調査報告書

教科名 ( 社会科 歴史 )

項目	中学社会 歴史的分野 ( 81・山川 )
中学校学習指導要領の教科の目標との関わり	<p>○はじめに「歴史的な見方・考え方」として、時期・推移・因果関係・差異の等に注目し、考察や理解の活用を促している。</p> <p>○「歴史へのアプローチ」「地域からのアプローチ」「歴史を考えよう」のページを設け、歴史の学習を豊かにする工夫が図られている。</p> <p>○各章の終わりに「まとめ」のページを設け、各章で学習したことを自分の言葉でまとめるよう工夫がなされている。</p>
特色	<p><b>内容</b></p> <p><b>&lt;基礎的・基本的な知識・技能の習得&gt;</b></p> <p>○日本と世界がどのような歩みを経て現在に至ったかをおさえた紙面構成になっている。具体的には1授業時間を原則見開き2ページとしており、この1時間で何を学ぶのかをテーマの下に課題として設置し、本文を読む視点を明確にしている。</p> <p>○「ステップアップ」で学習課題の理解を深め、掘り下げることにより基礎・基本的な知識の定着を図るよう工夫がされている。</p> <p>○「歴史へのアプローチ」を設け、深く掘り下げて解説している。</p> <p><b>&lt;思考力・判断力・表現力等の育成&gt;</b></p> <p>○各章に特設の「歴史を考えよう」のページを設け、資料をもとに、歴史について自分で考えたり、対話したりして歴史を学ぶ面白さを体験できる工夫がなされている。</p> <p>○各章の終わりにはまとめのページが設けられ、知識を関連させて時代の特色がとらえられる工夫がなされている。</p> <p><b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための効果的な工夫&gt;</b></p> <p>○「身近な地域を調べよう」の学習では、具体的地域を提示して、レポートの書き方や発表の仕方について、細かく留意している。</p> <p>○歴史の学習の最後によりよい未来を構想する課題を設定し、現代社会がどこへ向かっているかを考察させる学習課題が設定されている。</p>
	<p><b>資料</b></p> <p>○資料が豊富である。資料から学習のポイントが確認できる工夫がなされている。</p> <p>○国宝と世界遺産の資料にはマークが付けられている。</p> <p>○資料に通し番号がふられている。</p> <p>○意味の分かりにくい用語に「用語解説集」をつけて解説している。</p>
	<p><b>表記表現</b></p> <p>○資料の説明が丁寧で学習を深める工夫がされている。</p> <p>○本文中の番号と資料の番号が連携しており、わかりやすい。</p> <p>○ふりがなが適度にふられている。</p>
総括	<p>学習のはじめに「歴史との対話」を設け、年代の表し方、地域の調べ学習、レポートの作成・発表の課題を設定することで「歴史的な見方・考え方」を学びやすくしている。歴史の学習に興味を持ち、深く学べる工夫がなされている。</p>

研究調査報告書

教科名 ( 社会科 歴史 )

項目	中学社会 歴史的分野 ( 116・ 日文)	
中学校学習指導要領の教科の目標との関わり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○はじめに「歴史的な見方・考え方」として、時系列・推移・比較・つながりの4視点を紹介し、考察や理解の活用を促している。</li> <li>○「先人に学ぶ」「女性史コラム」「地域に学ぶ」のコラムを設け、歴史の学習を豊かにする工夫が図られている。</li> <li>○各編の初めにある「地図で見る世界の動き」のページで、諸外国とのかかわり及び国際協調の精神と態度が身につけられるようになっている。</li> </ul>	
特色	<p><b>内容</b></p> <p><b>&lt;基礎的・基本的な知識・技能の習得&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「何を学び」「どのように学ぶか」をおさえた紙面構成になっている。具体的には1授業時間を原則見開き2ページとしており、この1時間で何を学ぶのかを「学習課題」と「見方・考え方」で明確にし、「深めよう」で学習課題の理解を深め、「確認」で基礎・基本の定着を図るよう工夫がされている。</li> <li>○小学校の学習や、地理・公民とのつながりが示されている。</li> <li>○「スキルUP」で歴史学習を進めるにあたって必要な技能を開発している。</li> </ul> <p><b>&lt;思考力・判断力・表現力等の育成&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各編のはじめに地図と年表が掲載され、空間軸と時間軸で時代を概観できる工夫がなされている。</li> <li>○各編に特設の「チャレンジ歴史」のページを設け、資料をもとに、歴史について自分で考えたり、対話したりして歴史を学ぶ面白さを体験できる工夫がなされている。</li> <li>○各編の終わりにはまとめのページとして「アクティビティ」が設けられ、知識を関連させて時代の特色がとらえられる工夫がなされている。</li> </ul> <p><b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための効果的な工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○歴史の学習の最後によりよい未来を構想する課題を設定し、災害、政治参加、世界平和について考えを深める課題学習が設定されている。</li> </ul>	
	資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○資料が大きく、豊富である。資料から学習のポイントが確認できる工夫がなされている。</li> <li>○国宝と世界遺産の資料にはマークが付けられている。</li> <li>○資料に通し番号がふられている。</li> </ul>
	表記表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○資料に説明だけでなく、学習を深める質問が用意されている。</li> <li>○学級を想定したキャラクターが登場し、質問形式で学習への興味を引き出しながら導入が図られるようになっている。</li> <li>○ふりがなが適度にふられている。</li> </ul>
総括	<p>学習のはじめに「歴史的な見方・考え方」を学び、世界の歴史との関連が図れるよう、各編、章の導入ページに見やすい世界地図が提示されている。歴史について生徒が考え、判断し、表現する学習を重視する構成になっている。</p>	

研究調査報告書

教科名 ( 社会科 歴史 )

項目	[最新] 新しい日本の歴史 ( 227 ・育鵬社 )
中学校学習指導要領の教科の目標との関わり	<p>○歴史の大きな流れを理解させるために、各章冒頭に各時代の歴史の大きな流れをつかむための「歴史絵巻」を設けている。</p> <p>○我が国の歴史や人物を尊重する態度を育てるために、歴史を築いた人物の生き方を紹介する「人物クローズアップ」や世界と日本の文化遺産資料を掲載している。</p> <p>○本文を多面的・多角的な視点から解説した「歴史ビュー」や学習の幅を広げるために相応しいテーマを取り上げた「歴史ズームイン」等のコラムを掲載している。</p>
内容	<p><b>&lt;基礎的・基本的な知識・技能の習得&gt;</b></p> <p>○見開きが1単位時間で、導入、学習課題、本文、学習のまとめで構成している。</p> <p>○領土をめぐる問題については、本文とコラムで紹介している。</p> <p>○「歴史学習Q&amp;Aカードをつくろう」や「歴史新聞をつくろう」等の「課題学習」を設けている。</p> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等の育成&gt;</b></p> <p>○各時代の導入として、「〇〇の世界へようこそ！」で資料を通して時代の特徴や他の時代との違いを考えさせるようになっている。</p> <p>○各時代のまとめとして、「学習のまとめ」があり、他の時代との共通点や相違点に着目しながら言葉や図で表し、その時代の特色をとらえる学習を設けている。</p> <p>○「歴史のターニングポイント」や「私の歴史博物館」等の活動を設け、自分の考えを言葉で表現したり、グループで話しあったりするようになっている。</p>
特色	<p><b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための効果的な工夫&gt;</b></p> <p>○各時代の導入として、「歴史モノサシ」で学習する時代の範囲を確認し、“鳥の目”で見る「歴史絵巻」で時代の大きな流れをつかませるようになっている。</p> <p>○「歴史ズームイン」や「人物クローズアップ」等の読み物資料や「課題学習」が設けられ、生徒の興味・関心に応じて、学習が進められるようになっている。</p> <p>○「なでしこ日本史」で、古代から近代までの時代に活躍した女性を紹介している。</p> <p>○古事記や日本書紀に記された神話を紹介し、現在も地域に残る伝承や神社の祭り等に興味・関心を持たせるような工夫をしている。</p>
資料	<p>○見開きの上部に、学習課題に基づいた図版や文献資料等を大きく掲載している。</p> <p>○ページごとに写真・地図・系図・統計・組織のしくみ等が豊富に掲載されている。</p> <p>○中心資料には、資料から時代の特色を読み取るための視点を示している。</p>
表記表現	<p>○各項目の見出しや資料名、重要語句は太字で表記している。項目ごとに追究していく学習課題と学習のまとめの2つの課題を示している。</p> <p>○章ごとに学習範囲を色で示した年表を示している。</p> <p>○本文は敬体で、参照するページが当該ページより前の場合は「←p〇〇」、後ろの場合は「→p〇〇」で示している。</p> <p>○資料には、見開きごとに本文記述と資料との関連を示す通し番号が付けてある。</p>
総括	<p>「人物クローズアップ」では、「献身」、「勇気」、「勤勉」等の美德を体現した人物や、国家や人生の岐路において道を切り拓いた人物を、その人間的な魅力とともに紹介し、自分たちの生き方に活かしていく態度を育てられるようになっている。</p>

研究調査報告書

教科名 ( 社会科 歴史 )

項目	ともに学ぶ人間の歴史 ( 229・学び舎 )	
中学校学習指導要領の教科の目標との関わり	<p>○学習内容の構造化と焦点化を重視して設定されており、歴史の具体的場面や時代を生きる人びとの姿を通して各時代の特色をつかむように設定されている。</p> <p>○世界の歴史を背景に、日本の歴史の流れを大きくつかみ、理解するとともに、豊富な資料から調べまとめる技能を身につけ、多面的・多角的に考察を深めて、さまざまな表現活動ができるように設定されている。</p>	
特色	<p>内容</p> <p><b>&lt;基礎的・基本的な知識・技能の習得&gt;</b></p> <p>○章の扉のページで世界地図が描かれており、時代の様子を表す写真や絵から描く時代を大観し、学習課題が設定されている。章のあと・部のおわりに章をふりかえる・部の学習のまとめが設けられている。</p> <p>○「フォーカス」で歴史の舞台に焦点をあてて、くわしく解説されている。</p> <p><b>&lt;思考力・判断力・表現力等の育成&gt;</b></p> <p>○「歴史を体験する」では、さまざまな体験学習が設定されていて、活動を通して考えたことを話し合ったり、発表したりする学習が設けられている。</p> <p>○「部の学習のまとめ」では、歴史的な見方・考え方を働かせて、各時代の特色を多面的・多角的に考察し、学びを深められるように工夫されている。</p> <p>○「章の振り返り」では、学習したことを振り返り、関連付けて考えたり、意見交換をさせたりして、学習を深められるように課題が設定されている。</p> <p><b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための効果的な工夫&gt;</b></p> <p>○特色のある図版と記述等から疑問や問いが生まれるように工夫されている。また、本文の太字をなくしている。</p> <p>○章の扉のページに北極を中心とした地図を置き、テーマに沿って世界各地のようすを想像・予想できるように工夫されている。</p>	
	資料	<p>○見開きの上部に導入資料や資料が写真等で大きく掲載されている。</p> <p>○全てのページに写真や地図、統計等が掲載されている。当時の人々の生活場面や写真が掲載され、資料には、出典・所蔵が明記されている。</p> <p>○側注・グラフ・資料等から、歴史的事象や課題について多面的・多角的に考えられるように工夫されている。</p>
	表記表現	<p>○見開きに生徒の関心を高めるようにタイトルが工夫され、見通しをもつための学習課題が示されている。</p> <p>○巻末の年表では、日本の社会・政治・経済の動きと日本の文化・宗教が世界の出来事と関連付けて掲載されている。</p> <p>○本文は、敬体で記され、学年に応じた文章表現や漢字が使用されている。資料には、見開きで通し番号が付けられている。</p>
総括	<p>○生徒の主体的な学びの実現を目指した図版や記述の工夫がされている。女性や子ども等、さまざまな分野・階級の人びとの生活を学ぶことで、誰もが個人として尊重し合える社会について考えを深められるように配慮されている。</p>	



研究調査報告書

教科名 ( 社会科 歴史 )

項目	新しい歴史教科書 ( 225・自由社 )	
中学校学習指導要領の教科の目標との関わり	<p>○各時代の導入にその時代を象徴するような資料と小学校で学んだ人物を中心にした「登場人物紹介コーナー」が示され、学習の見通しをもてるように工夫されている。</p> <p>○章末に「調べ学習のページ」「復習問題のページ」「時代の特徴を考えるページ」「対話とまとめ図のページ」が設けられ、学習を積み重ねて課題研究ができるように構成されている。</p> <p>○巻末「歴史を学んで」では、設定された複数の課題を学習してきた内容を活用して考え、解決することを通して日本の歴史の特色を捉えられるように工夫されている。</p>	
特色	<p><b>内容</b></p> <p><b>&lt;基礎的・基本的な知識・技能の習得&gt;</b></p> <p>○見開きを1単位時間とし、導入、学習課題、本文、「チャレンジ」で構成されている。また、本時で扱うおおよその時期を示した「歴史モノサシ」が設けられている。</p> <p>○章末「復習問題のページ」では、用語についての問いや地図問題に取り組むことを通して、学習してきた知識を身に付けられるように工夫されている。</p> <p><b>&lt;思考力・判断力・表現力等の育成&gt;</b></p> <p>○見開きのまとめ「チャレンジ」では、学習したあと挑戦したいワンポイントの課題が示され、学習内容を自分の言葉で表現するように工夫されている。</p> <p>○章末「○○とはどんな時代だったろうか」では、時代比較・人物比較・「ひとこと」作文等を通して、自分の言葉でまとめ、表現するように工夫されている。</p> <p><b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための効果的な工夫&gt;</b></p> <p>○「調べ学習のページ」では、資料から課題を見付けたり、情報を調べたりすることで、歴史について関心をもつことができるように工夫されている。</p> <p>○本文の記述を深め、歴史の見方のヒントを与える読み物や、「知っ得ポイント！」等を掲載し、主体的に学習に取り組めるように工夫されている。</p>	
	資料	<p>○ページごとに写真・地図・系図・統計・組織のしくみ等が掲載されている。資料に吹き出しを付け、疑問点や解説が掲載されている。</p> <p>○生徒が興味・関心をもって読み進められるように、学習内容に関連したコラム「もっと知りたい」や「人物クローズアップ」などが設けられている。</p>
	表記表現	<p>○見開きの見出し・資料名・重要語句は、太字で表記されている。見開きに見通しをもつための学習課題と学習のまとめの2つの課題が示されている。</p> <p>○本文は、敬体で記され、参照ページが設けられている。資料には見開きやで通し番号が付けられ、本文の関連箇所にも同じ番号が付けられている。</p>
総括	<p>我が国の歴史や人物を尊重する態度を育てるための「もっと知りたい」や歴史上の人物の功績について触れる「人物クローズアップ」等のコラムが設けられ、学習に具体性や発展性をもたせるように配慮されている。</p>	